

「人」と「まち」をつなぐ

広報

えびの

今月の掲載記事

◎ CIVIC NEWS

◎ まちのわだい

◎ えびの気質「川嶋達也さん」

◎ うまかもん「トイモカラの酢の物」



特集

にぎわい再び京町温泉



2012 November vol.553

11

京町温泉が開湯してから約100年が過ぎようとしていきます。観光客はピーク時には年間60万人にも達し、宮崎県を代表する温泉街でした。

しかし、観光ニーズの多様化や旅行者の小グループ化、温泉を観光資源として活用する自治体の増加などもあり、入込み客数は、減少の一途。さらに、追い打ちをかけるかのよう^{（こうごう）}に^{（こうごう）}口蹄疫、新燃岳噴火の影響が重なり、観光客数は、ピーク時の3分の2になっています。

「再び、にぎわいを取り戻したい」危機感を持った経営者や若者等で構成する「京町温泉活性化プロジェクト」が立ち上がりました。

「真の幸せまちづくり京町温泉活性化を核として」を合い言葉に、さまざまな取り組みがスタートしました。



【特集】京町温泉活性化プロジェクト

にぎわい再び京町温泉



京町温泉宣伝隊。日豊線京町駅下車、温泉宣伝隊の文字が読める。日豊線の吉都線への改称が、昭和7年であることから、それ以前の写真と思われます (写真提供：仁科 博さん)

あのにぎわいはどこへ 減り続ける観光客

「温泉街なのに浴衣姿で歩く人を見かけることはなくなりました」「通りはシャツターが開まったままで活気が感じられない」

宮崎県で最多の泉源数と歴史を誇る温泉郷「京町温泉」。かつては、旅館が面した川内川に屋形船が浮かび、橋の上からも、カラオケや太鼓の音が聞こえていました。

さのぼり(田植え後の慰労会)、社員旅行など、温泉地への旅行は娯楽の中心でもありました。京町温泉には、温泉太鼓や笑い声がまちに響き、浴衣姿のまま旅館を出た観光客は、京町温泉銀天街へと吸い込まれていく。そんな光景がありました。

あるカラオケ店経営者は、「昔は浴衣姿で歩く旅行客のげたの音が響いていました。時にはけんかもありましたが、本当に、にぎやかだったですね。今では、客が来ないかなあと窓の外を眺める日々です」。

観光は、以前の団体を中心としたものから、家族、友人、個人を中心としたものに大きく変化しています。このような観光客は単に温泉があるだ



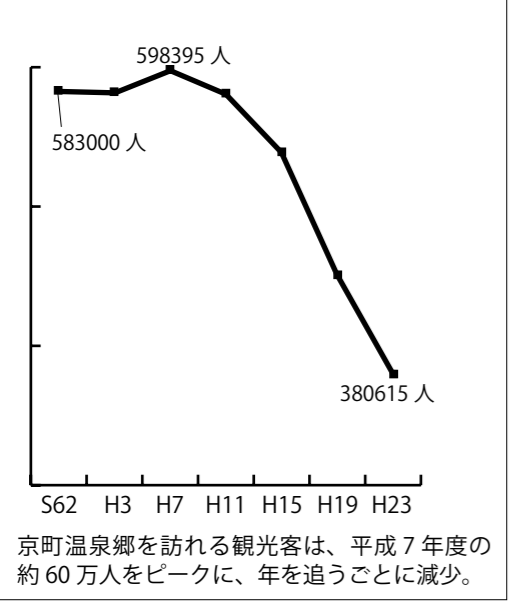
けでは満足しません。しかし、京町温泉はこのような観光形態の変化に大きく立ち遅れてきました。

昭和62年に約58万人、平成7年には約60万人いた京町温泉の観光客。平成23年には約38万人と、ピーク時の約3分の2に落ち込んでいます。高速度道路の開通やグリーンパークえびののオープンなどで、一時的には増加に転じたものの、その後、再び減少。平成22年の口蹄疫の発生と平成23年1月以降の新燃岳噴火活動の活発化によってさらに落ち込んでいます。

京町温泉郷で営業している旅館も老舗の廃業などがあり、13軒あった旅館が4軒減って、現在営業しているのは9軒です。商店街も平成8年には、小売業や飲食店業が134軒ありましたが、現在は102軒と32軒も減少しています。

年を追うごとに商店街の下りたシャツターは増え、そんな閑散とした風景に人足はますます遠のいていく、やがて京町温泉郷は姿を消してしまうのではないかと、京町温泉郷はそういった事態に陥る危機にあります。

京町温泉の観光客数推移



昭和59年から昭和63年ごろまで、3旅館が川内川で屋形船を営業していました

京町がにぎわっていたあのころ

にぎわっていた商店街

◎製菓業 妹尾哲男さん

夜も眠れないほどの忙しい日々



私の店の横の通りは、かつて京町中央通り商店街と呼ばれていました。今は私の店だけとなりましたが、当時は、

私の実家を継いだのは、昭和60年ごろ。北九州で電気工事関係の修行後、25歳の時に京町に帰ってきました。当時は、屋形船が人気で、週末になると大型バス2〜3台のお客さんが屋形船目当てにやってきて、多くの観光客でにぎわっていました。人気だった屋形船の船内には、配線がめぐらせてありました。フル稼働の屋形船です。ので、トラブルの度に呼び出され、修理に行っていました。温泉をくみ上げるポンプなども点検修理に行き、忙しかっ



多くの店が並び、多くの人でにぎわっていました。

昭和30年代後半から50年代初めにかけて、宮崎は空前の新婚旅行ブームに沸いていました。えびの市も例外ではなく、京町温泉の旅館や商店街などは多くの人でにぎわっていました。何もせずにお客さんがやってくる時代です。

私は、高校卒業後、実家を継ぐために、東京と鹿児島に修行に出ていました。修行を終ええびの市に帰ってきたのは昭和50年ごろです。

当時を振り返ると、昭和43年のえびの地震で旅館は新しく建て替えられ、宮崎ハネムーンの影響もあり、1日あたり100人から200人ぐらいが京町温泉郷に宿泊や観光にやってきていたと思います。宿泊客や観光客のお土産品をつくるため夜遅くまで働き、店の電話は注文で鳴りっぱなしでした。シヨーケースには商品を並べられないほど

たです。

家の周りの街並みは、当時とほとんど変わっていませんが、数件の店が閉店してしまいました。

当時を振り返ると、付き合いななどが多く、毎日のように飲みに行っていました。夜9時ぐらいに飲み屋に入ると、お店は観光客でいっぱいではないことがありました。そこで1次会を早めに切り上

忙しかったです。ある夜旅館から「宿泊客のお土産を追加で作ってもらえないか」との電話に「今夜は寝かせてください」と断ったのを覚えています。

にぎわっていた銀天街

◎電気工事業 小林浩樹さん

浴衣姿の観光客が多かった京町の街並み



げ、2次会に行っていたことを覚えています。観光客と一緒に飲んだりもしていました。銀天街も浴衣姿でげたをはいた観光客が、げたをカラ、コロンと鳴らして歩いてたのを思い出します。

浴衣姿でげたをはいて歩いている観光客の姿を見たのは10年前ぐらい前までです。かね、京町の夜も寂しくなりました。

いのが、屋形船を4隻つないだことです。川内川に4隻の船が遊覧する姿は見事なものでした。お客さんに提供する料理も、毎朝、鹿児島市場に行き新鮮な魚介類を仕入れ豪華な料理を出していました。お客さんにも満足してもらっていました。たぐさんのお客さんに利用してもらい、たぐさんの税金を納めたのを覚えています。屋形船の営業は、川が相手のため、水量などで運行できなくなることもありましたが、せっかくなりに来ていただくお客さんに断りの電話を入れるのがつらく、他にも、安全確保の問題もあり屋形船の営業をやめました。

にぎわっていた温泉旅館

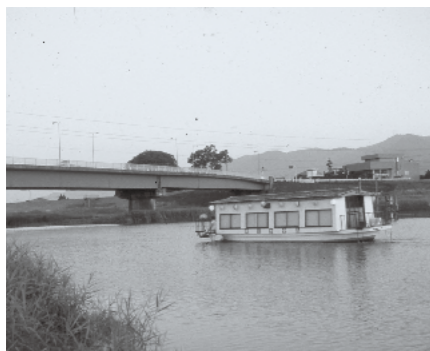
◎旅館業 小屋敷盛雄さん

年に休みは7日間 多くの人が屋形船に

昭和59年から昭和の終わりで、貸し切りで運行していましたが。花火大会の時は、1隻に入りきれないぐらいのお客さんでした。お陰で、休みは、正月の7日間だけでした。

九州各地のテレビ局やラジオ局の取材も受けました。それを見たお客さんから予約の電話をもらい、断るのが大変でした。

屋形船の営業で一番印象深



京町をどげんかせんといかん 立ち上がった人々



宮崎大学の学生らに京町温泉の調査分析を依頼。問題点を協議しました

共有されなかった危機感

衰退を前にして、これまでも京町温泉再生の取り組みが行われてこなかったわけではありません。先進地の視察、地域活性化の講演などが繰り返して行われてきました。

しかし、視察や講演が終わった後「よかった、よかった」で終わってしまい、地域の活性化の足がかりには、なり得ていませんでした。

「このままじゃ京町が衰退するばかりだ」「誰かがやるだろうではないけれど、自分たちでどげんかせんといかん」。旅館や商店の経営者や後継者には、自分たちのまちは、自分たちで盛り上げていかないといけないという危機感が高まっていました。しかし、当時の京町地区には、そういっ

た思いをぶつけ合う場がなく、その気持ちは、それぞれの内に秘められるだけのものでした。

立ち上がった人々

そんな中、平成21年6月、転機が訪れます。市は、そういった地域住民の思いをぶつける場になればと、京町温泉活性化プロジェクト設立準備会を開催しました。準備会で問題意識の共有を図ることができたことから、同月、真幸地区公民館で地元の経営者や若者等を中心とするメンバーと市観光商工課で構成する京町温泉活性化プロジェクトが立ち上がりました。

京町温泉活性化プロジェクトの主体は、地域の皆さんです。市(行政)は、運営のサポートや地域再生へ国や県の補助

金を活用するなど裏方に徹しています。

プロジェクトの会員は、現在、旅館業、商工業、飲食店業、住民など37人です。会員は、「真の幸せまちづくり京町温泉活性化を核として」を合い言葉に京町温泉活性化に動き出しました。

京町温泉活性化プロジェクトでは、「食・ものづくりプロ

ジェクト(鹿^{しか}南^{なん}蛮^{まん}など)」、「交流・連携・絆^{きずな}づくりプロジェクト(京町温泉マップ)」、「景観づくりプロジェクト(のれん、観光案内板など)」、「空き家再生プロジェクト(チャレンジショップなど)」などに分かれ、それぞれの分野で京町温泉活性化に向けたさまざまな取り組みを行っています。



京町温泉活性化プロジェクト会議では、活性化に向け多くの議論を重ねてきました

京町の再生は自分たちの手で

自ら見つけ行動に移す

◎京町温泉活性化プロジェクト 秋本敬氏さん

まちが元気、地域が元気が今後のカギ



京町温泉活性化プロジェクトは、京町地区が一丸となる良いきっかけをいただきたいと思いません。衰退するまち並み



京町温泉活性化プロジェクトでの活動は、のれん事業や足湯事業など商店街仲間から話を聞いて知っていました。しかし、自営業ではない同年代の人に話を聞くと活動を知らない人がほとんどです。京町には、若い後継者が少なくなってきたのも現状です。もっと多くの若い力が集まれば、大きな力になり活性化が進むのではないかと思います。

を見て「このままじゃいかん。何とかせんといかん」とみんなやる気が出てきました。

いろいろな取り組みを行ってききましたが、その取り組みをやめずに、広がりやを大事に、続けていかなければなりません。

今回、京町温泉活性化プロジェクトという種火がつけました。話し合いなどでは、京町地区を盛り上げるアイデアがたくさん出ています。そのアイデアに火を付け、取り組めるものから取り組んでいきたいです。何かしてくれではなく、自分たちで見つけ、行動に起こさなければなりません。

「まちに活気を」といいます。それには、人が来ないと始まりません。元気がないまちには、人も集まりません。人を集めるためには、地域の人の元気（活気）を取り戻す必要があります。今後、京町温泉活性化プロ

から自分でなくてもという気持ちがありました。でも、それではいけないと思います。誰かがやってくれる、誰かがするだろうではなく自分から進んで行動しないと何も変わっていかないとします。そういった気持ちを一歩ひとりが持つことが大切です。私の仕事は、観光客が増える、増えないで売り上げなどにさほど影響がでる職種では

地域全体での取組が重要

◎観光協会会長 迫田黙太郎さん

物産館オープンが最後のチャンス

口蹄疫や新燃岳の噴火の影響、ETCの休日1000円の廃止などで、ここ数年えびの市の観光客数は減少していましたが、最近では、新燃岳の影響がなくなり、また、グリーンパークえびのへ工場見学など、徐々に観光客は増え始めています。昔に比べ観光客のニーズは、体験型観光や健康志向になるなど変化してきています。ニーズが多様化

ジェクトでは、市外の人に来ていただくための魅力づくりはもちろんですが、地元の人

が元気になる、地域が元気になる取り組みを考えていきます。

観光客がまちの活気に

◎自転車・バイク販売業 大門哲也さん

活性化に向けさまざまな形で協力したい



ありませんが、観光客が増え、商店街を歩き、気軽に店に寄ってもらおう。そして会話がはずみ、そこから人とのつながりが生まれる。これは、仕事をやる上でプラスになるはずで

今は、消防団活動などで、なかなか協力ができない状況ですが、私も京町温泉活性化に向けてさまざまな形で協力をしていきたいと思

えびの市は、九州管内なら約3時間以内でアクセスできる場所で、観光客誘致には、県内でもずば抜けているところです。また、それが魅力ともいえます。京町温泉だけでなく、えびの市全体が、新たな魅力を発信し、えびの市に来てよかった。今度は、あそこに行ってみようという回でも足を運んでもらえる街づくり観光地づくりが必要です。来年4月には、えびの市の新たな魅力として物産館ができます。これがえびの市活性化の最後のチャンスだと思



来年4月オープン予定のえびの市物産館

している今、京町温泉やえびの市全体の活性化に向けては、視点を絞って取り組む必要があります。えびの市の周りには、素晴らしい温泉郷がたくさんあります。京町温泉に温泉があるから行ってみようという時代ではなく、温泉プラス何か魅力がないと人が集まらない時代になっていま

動き出した京町活性化プロジェクト

鹿ん南蛮 えびの市の食の特産品 新たな京町の味



京町温泉活性化プロジェクトの食・ものづくりプロジェクトチームでは、京町温泉郷の活性化に向けてB級（美求）グルメの開発に取り組みました。鹿ん南蛮は、チキン南蛮のようにタルタルソースで食べるもののほか、各店舗で工夫の凝らしたものがあ

ります。鹿ん南蛮は、筋切りした鹿のもも肉をえびの産の米粉にまぶし、卵に絡めて甘酢に漬けます。その上でどう提供するかは各店舗に任せてあります。鹿肉は、えびの市の猟友

会などから仕入れ、消費拡大により農作物へ被害を与えるシカ捕獲の推進につながる狙いもあります。鹿ん南蛮は、黄色色のぼり旗が立っている旅館や飲食店で食べることができます。



「鹿ん南蛮」の試作品の出来栄を評価する飲食店関係者ら



食の特産品「鹿ん南蛮」

食でえびのを 盛り上げたい

◎旅館業 仁科博さん

えびの市で食の特産品を考えた時、思いつくものはありませんでした。そこで米や米粉を使った特産品を開発しようと考えました。試行錯誤を繰り返しながら開発に取り組みましたが特産品になるには至りませんでした。

そのころ、県北で鹿肉を使った料理が紹介されました。これをヒントに、鹿肉を使って特産品は作れないかと

考えました。旅館や飲食店では肉を使わない所はないため、鹿肉は大丈夫だろうと思

いました。また、肉を揚げたり、酢漬けにしたりすれば、店によってオリジナリティーが出るだろうと考えました。その後、食・ものづくりプロジェクトの試食会に「鹿ん南蛮」を出しました。評判もよく鹿ん南蛮が京町の食の特産品に決まりました。

今後は、「鹿ん南蛮」をどう効率的にPRをしていくかが課題です。食の特産品ができた今、京町温泉郷が一つになる時期です。京町だけではなく市民一丸となって「チームえびの」、「ALLえびの」で地域全体でお客さんを出迎えていく必要があるのではないのでしょうか。



京町温泉 あおぞら市

京町温泉郷の
新たな名物市



京町温泉活性化プロジェクトでは、独自の取り組みとして、京町温泉あおぞら市を行ってまいります。この市は、平成23年11月から始まり、今年11月で1周年を迎えました。

この市は、「何か自分たちでできないか」という京町温泉活性化プロジェクト内の話し合いから始まったもので、行政の支援を受けずに運営されています。

駅前広場で開催されています。毎月第2日曜日には、京町温泉駅前には、多くの人でにぎわいます。今後、京町温泉街の名物市として定着することが期待されます。

市では、地元の食材を使った総菜やえびの産の新鮮な野菜、花、お土産品、工芸品などが店頭に並びます。

あおぞら市

【開催日】毎月第2日曜日
【場所】京町温泉駅前広場
【時間】午前9時～正午まで



写真提供：小林浩樹さん

あおぞら市を名物「市」に

継続が大事。これから が本当のスタート

京町温泉駅名誉駅長 永友隆雄さん

私が京町にきたのは昭和34年です。国鉄に入社し最初の勤務先が京町駅でした。駅には、旅館の人が、ちようネクタイを締め、黒塗りの車、3台で宿泊客を迎えに来ていました。当時はそのぐらいにぎわっていました。今では、そこにぎわいはありません。京町で生まれ育った人では、気づきにくい目線で活性化を目指そうと活性化プロジェクト

に参加しました。昔に比べ買い物ができる店が少なくなってきた京町に、高齢者が気軽に買い物ができる場所と観光客にえびの魅力を伝えることのできる場所の提供を考えました。それが「あおぞら市」です。運営も最初は、多くの人にボランティアで手伝いをしてもらっていましたが、最近は、うまくいかない部分もありま

す。しかし、うまくいかなかったから終わりではなく、続けていくことが大切です。あおぞら市は、これからが本当のスタートだといえます。

京町温泉郷に、にぎわいを取り戻すため、京町全体が心を一つにして、苦勞を一緒に乗り越え、京町二日市と肩を並べるほどの名物市にしていきたいです。



観光マップ

えびの市の魅力発見ツール



空き家再生プロジェクトでは、京町温泉街を説明する観光パンフレットが少なく、内容も満足するものが無かったため、観光パンフレット「京町温泉街地図帳」をつくりました。

京町温泉街地図帳は、京町の地図上に色分けした番号が振ってあります。番号は業種ごとに色分けされ、地区内にある121もの店がどこにあるのかが一目でわかるようになっていきます。温泉・旅館・足湯、代表的な観光地は、写真つきで紹介しています。

「えびの市の湯巡りと麺」は、市内全域の温泉の紹介に加え、ラーメン店やうどん店を紹介し、温泉プラス食べる楽しみを提案しています。「京町温泉街地図帳」と「えびの市湯巡りと麺」は、市観光工課や真幸出張所などの公共施設のほか、京町温泉郷の旅館などに置いてあります。

京町温泉街地図帳
公式 HP サイト: www.kyomachionsen.com

【矢岳高原】
霧島連山を一望できる、えびの市随一の展望スポット。天気の良い日は鹿児島島の桜島まで見える。さらに、眼下に広がるのは日本ジオパーク認定を受けた、霧島山の火山の噴火で形成された「加久藤カルデラ」が一望に広がる。

【吉田温泉の歴史】
天文23年(1554)霧島山が大爆発して地震がおき、吉田郷昌明寺山王山の麓にある岩間から、自然に大量の湯が湧き出した。この湧湯に傷を負った鹿が湯を浴びて傷を癒していた。この状態を発見した付近の住民達が、この湯を使用して入浴するようになったことから鹿の湯と名づけられた。天正5年(1577)真幸院の領主、島津義弘侯が鹿の湯の効用を認め、湯屋を改築して湯権現社を建立し、飯野、加久藤、真幸、吉松の住民から夏は麦一升、秋は米一升を奉納させて、奉納者は鹿の湯の入浴は無料であったと伝えられる。

京町の商店街に設置された紫色ののれんのお店ではおもてなしの接客を心がけています。

各温泉施設には温泉の効能などが記載されたこの看板が設置されています。

EVENT 京町二日市
2月の第1土・日曜日に開催される南九州最大の買い物市。毎年約25万人が市内外から訪れ京町温泉駅前から約2kmが歩行者天国となる。会場となる沿道には植木や骨董品、露天や地元の特産品など約450店舗余りが軒を並べる。

EVENT 京町温泉 真幸あおぞら市
毎月第2日曜日に京町温泉駅付近で開催される。主に、地どれの旬な野菜や惣菜、お土産、工芸品などを販売。是非、立ち寄ってみてはいかが？

EVENT えびの京町温泉夏祭り花火大会
毎年7月の第3土曜日に開催されるえびの市を代表する花火大会。川内川沿いから打ちあがる花火に、県内外から多くの人出で賑わう。また、会場ではステージイベントや露天などが多数出店する他、会場までの沿道には地元の子供たちが作った手作りの灯籠が来場者を出迎えてくれる。

【荒神堂】
樹齢500年以上の大タブの木。西南の役に、戦いに遭い半分以上を焼失してもお菓子を繁らせる力強さは圧巻。荒神堂は、昔から「荒神さあ」(即ち火の神)として崇められ京町温泉に火災が少ないのもこの荒神堂のご神木のおかげだとも言われています。

【あし湯・指湯(和楽)】 無料

【あし湯・指湯(いごい荘)】 無料

【あし湯・指湯(スパ・プラザ湯遊)】 無料

【あし湯・指湯(いごい荘)】 無料

京町の情報が満載

観光客だけでなく 市民も活用を

給油所で仕事をしていると「京町温泉ってどこですか」と聞かれることが多くあります。えびの市には、それらを説明する観光パンフレットが少なく、あったとしても詳しい説明が書かれたものはありませんでした。その時、えびの市や京町温泉には、ハード面よりもソフト面の強化が必要だと感じました。

トでは、「京町温泉街地図帳」を製作しました。地図をつくる時、温泉だけでなく、商店や職人など、この町に在りていて、この町を誇りに思っている地図を作る必要があると考えました。このパンフレットには、京町温泉街のすべての商店や旅館、飲食店などの情報がつまっています。商工会青年部発行の「えびの市の湯巡りと麺」は、地元の人目線で作り直した。パンフレットは作り直しましたが、一番の情報発信源は、市民一人ひとりの口コミだと思っています。市民の方にもこのパンフレットを活用してもらいたいのです。その魅力をえびの市の観光セールスマンとして、発信してもらえればと思います。





空き家再生

商店街に新しい風 チャレンジショップ

天銀町、まちま再生会では、空き家再生の活性化を図るため「チャレンジショップオーナー」の募集を行いました。現在3件のオーナーが店に向け準備中です。



昨年3月にえびのに帰ってきました。知り合いからは、えびのに帰ってきて、店を出してみればと言われていました。帰ってきた時は、店を出すことなど全く考えていませんでした。

えびのでも料理の仕事をしていたある日、友人からチャレンジショップという制度があることを聞き、どんなものだろうとパンフレットを探して見てみました。読んでみると、京町地区の空き家を再生し、あなたの店を出してみませんかという内容でした。さっそくチャレンジショップへ申し込みを行いました。審査の結果、店を出すことができました。

私が店を出す場所は、小林電気さんの隣になります。来春にオープン予定です。店の名前はまだ決まっています。洋食をメインとしたレストランとハムやソーセージなどを販売する工房を出します。えびのの産のおいしい食材を使った料理を観光客や地元の人が気軽に楽しんでもらえるお店にしたいです。

今後の夢なんです。京町と言ったら温泉。その温泉の魅力を利用した温泉と食の取り組みをしていきたいです。多くの人がえびのに来て温泉と料理を楽しんでもらい、えびのに来てよかったと喜んでもらえるよう頑張っていきたいです。



岡田貴光さん
南岡松出身。高校卒業後、東京の料理の専門学校で料理を学ぶ。イギリスやフランスにも渡り、料理を修行。

自分で感じ えびのの魅力を発信

私は高原町出身で、6年前に嫁いできました。嫁いでくるまで京町のことを全くとっていないほど知りませんでした。最初の印象は「閑散としているなあ」でした。周りからは「京町にはいいところはないよ」と聞かされていました。

1年目は、お客さまに「えびの市、京町のいいところはないか」と聞かれ、回答に困っていました。それじゃいけない、お客さまに説明するには自分で行って体験する必要があります。あると考え、仕事の合間を見れば、えびのを歩き回りました。今では、自分で体験したえびのの魅力をお客さまに伝えていきます。



中村恵さん
京町観光ホテルの女将として6年前えびの市へ。3児の母。子育てと仕事の合間にえびのの魅力を発信を行う。

思いは一つ 魅力ある京町を

今年からは、温泉水を使つたせつけんづくり、アロマづくりや食事会など旅館の粋を越えた交流を他の旅館の女将さんたちとされています。6年間仕事をしていますが、初めての試みです。

今後は、こういった交流を増やし、各旅館の魅力を認識していけば、お客さまのニーズに合ったものができると思います。市の観光や食の情報などを共有し、発信していけば、えびの市の魅力にもつながると思います。

来ていただいたお客さまはもちろん、地元の人にも喜んでもらえる京町温泉郷を目指し、思いを一つにして頑張っていけたらいいですね。

奮闘する女将たち





水彩画教室

アートのある街並みへ
空き家再生をイメージ



平成22年2月、京町温泉にアメリカの水彩画家ゲイリー・ブコブニック氏を招き、市民を対象とした水彩画教室が行われました。教室には、京町温泉の関係者など97人が参加しました。

京町温泉を見下ろす矢岳高原には、ゲイリーさんが、巨石に田の神さあを描いた作品が完成。新たな観光資源が増えました。



浴衣レクチャーショー

浴衣の素晴らしさを発信
温泉街を歩きたくなる



平成21年7月の京町花火大会に併せ、世界で活躍する着物スタイリストの富田信明氏を招き、浴衣ショーを行いました。

この浴衣ショーは、日本人の原点である着物の素晴らし

さを改めて感じてもらうとう行われたものです。写真は、富田さんが全国各地で見つけた染料で染めあげた帯です。

同日、京町温泉の旅館では、浴衣ショーも行われました。



Kyoumachi Onsen

京町温泉活性化プロジェクト



観光案内板

京町温泉の位置を明確化
存在感をアピール



京町温泉周辺の国道(268号線・447号線)の出入り口等に観光案内板5基を整備。京町温泉の存在感をPRし、観光客に京町温泉を印象付けます。地域住民にも京町温泉の位置を明確化し、温泉郷として再認識を促します。



のれん

情緒ある街並みに
おもてなしの意識を高める

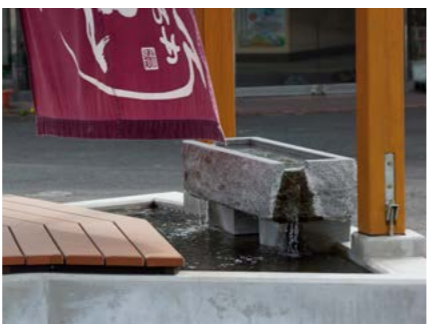
京町温泉内の各旅館や店舗等101か所に統一したデザインの「のれん」を整備しました。

京町温泉郷としての質の向上と地域住民との連携意識を高め、観光客に対し、地域住民のおもてなしの意識を図ります。



足湯

温泉の癒やしとぬくもりの
新たな憩いの場



新たな観光客の獲得を目的として、和菜、いこい荘、スパプラザ湯遊の3か所に無料で利用できる足湯を整備しました。京町温泉に足湯を点在させ、周遊をきっかけに、違う泉質の温泉体験と癒やしとぬくもりを提供します。



温泉案内板

泉質・効能の違いがわかり
温泉街の雰囲気盛り上げる



市内各温泉施設と旅館に、温泉の泉質・効能の違いがわかるバス停型の温泉案内板18基を整備しました。観光客や市内の

利用者に温泉街としての

雰囲気を盛り上げ、施設

により違う泉質・効能を

表示することで温泉の魅

力をPRします。

にぎわいは取り戻せるのか
求められる息の長い取り組み
カギは協力の輪
これからが本当のスタート

焼酎
明月
京町銀天街

多くの観光客が湯煙の中を、浴衣姿で散策している。京町温泉に、にぎわいを取り戻すためには、京町温泉ファン、口コミで京町温泉の良さを伝えてくれる人を増やす取り組みが必要です。

行政の支援がなくては続かない地域おこしは、支援終了とともに終了してしまいます。

情熱を燃やす一部の人が無理を続けていても、結局、息切れしてしまいます。

多くの人が自分のできる範囲で、できることを続ける。地域の人たちの京町のまちづくりにかける協力の輪が、今後の京町活性化の鍵になります。

時間をかけて減少した観光客は、それ以上の時間をかけて取り戻す息の長い取り組みが必要です。

京町温泉活性化プロジェクトは、今始まったばかりです。

用語説明

■一般会計

福祉や教育、公園や道路建設などの市の基本的な事業を行う会計です。市税や地方交付税などを主な財源としています。

■特別会計

特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う会計です。市では、国民健康保険、観光などがこれに該当します。

■地方交付税

地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるよう、一定の基準により国から交付されるお金

■国庫支出金

国から地方自治体に交付される補助金や委託金などのことです。

■市債

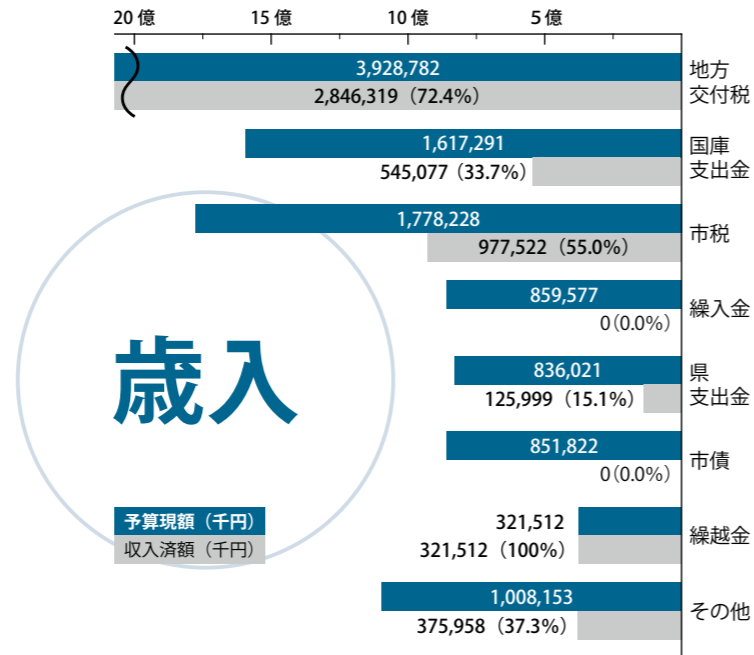
市がさまざまな事業を行うとき、長期にわたって借りのお金のことです。

■公債費

市債を返還するための経費のことです。

■お問い合わせ先

市財政課財政係
☎ 35 - 1111 (内線 381)

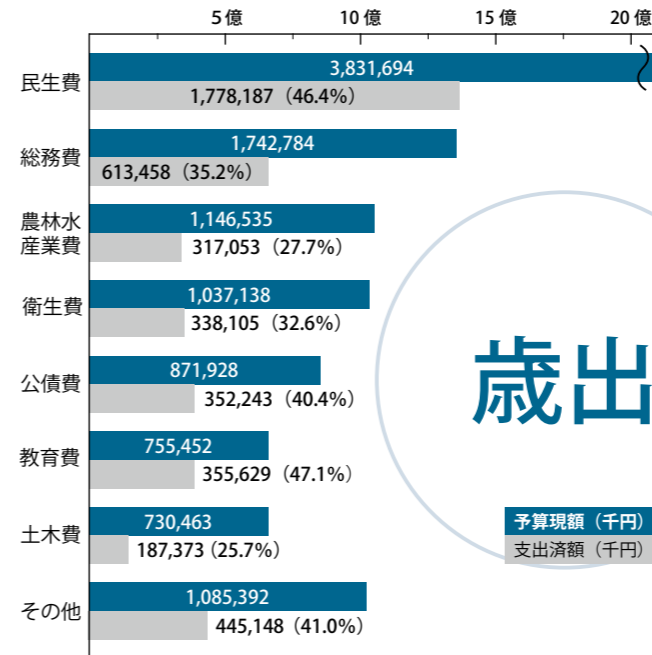


【特別会計の予算執行状況】

[単位: 千円]

| 会計 | 歳入 | | 歳出 | |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 予算額 | 収入済額 | 予算額 | 支出済額 |
| 国民健康保険特別会計 | 3,703,942 | 1,544,864 | 3,703,942 | 1,516,107 |
| 観光特別会計 | 32,102 | 12,956 | 32,102 | 14,676 |
| 介護保険 保険事業勘定 | 2,722,410 | 1,312,266 | 2,722,410 | 1,151,496 |
| 特別会計 介護サービス事業勘定 | 23,297 | 11,567 | 23,297 | 7,840 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 636,339 | 391,235 | 636,339 | 211,292 |
| 合計 | 7,118,090 | 3,272,888 | 7,118,090 | 2,901,411 |

※収入済額を上回る支出部分は、一時運用金(会計間のやりくり)で対応しています。



※グラフは、それぞれ平成23年度からの繰越予算を含めた額です。
 ※歳出予算の「その他」は、議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費などです。
 ※歳入予算の「その他」は、地方譲与税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、諸収入などです。

【市債の状況】

[単位: 千円]

| 区分 | 現在高 | 前年同期残高 |
|--------|-----------|-----------|
| 一般会計 | 6,975,851 | 7,067,948 |
| 水道事業会計 | 976,024 | 854,027 |
| 病院事業会計 | 37,256 | 43,247 |

平成23年度のえびの市の一般会計予算額(平成24年9月30日現在)は、歳入・歳出それぞれの繰越が、5572万3千円あり、合計で112億138万6千円(対前年度同期比0.6%増)となっています。
 この合計額に対して、平成24年9月30日現在の収入済額は、51億9238万7千円で、収入済率46.4%、支出済率は43億8719万6千円で支出済率39.2%となっています。

予算の執行状況を公表します

水道事業



◎水道業務量

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)
 給水戸数・・・8,636戸
 給水人口・・・19,096人
 上半期給水量・・・996,229 m³
 1日平均給水量・・・5,444 m³
 1人1日平均給水量・・・285.1ℓ
 普及率・・・76.4%

◎借入金残高 9億7,602万円

■お問い合わせ先: えびの市水道課経営管理係
 ☎ 35 - 1111 (内線 291)

【事業収入に関する事項】

[単位: 円]

| 区分 | 予算額 | 執行額 | | 収入率 (%) |
|--------|-------------|-------------|-------------|---------|
| | | 上半期 | 累計 | |
| 水道事業収益 | 333,138,000 | 152,953,742 | 152,953,742 | 45.9 |
| 営業収益 | 331,720,000 | 152,619,143 | 152,619,143 | 46.0 |
| 営業外収益 | 1,415,000 | 319,139 | 319,139 | 22.6 |
| 特別利益 | 3,000 | 15,460 | 15,460 | 515.3 |

収入の営業収益は、水道料金、手数料、水道加入金など。営業外収益は、預金利息、雑収益など

【事業費用に関する事項】

[単位: 円]

| 区分 | 予算額 | 執行額 | | 執行率 (%) |
|--------|-------------|-------------|-------------|---------|
| | | 上半期 | 累計 | |
| 水道事業費用 | 303,025,000 | 128,605,843 | 128,605,843 | 42.4 |
| 営業費用 | 280,427,000 | 117,889,685 | 117,889,685 | 42.0 |
| 営業外費用 | 22,096,000 | 10,670,936 | 10,670,936 | 48.3 |
| 特別損失 | 2,000 | 45,222 | 45,222 | 2261.1 |
| 予備費 | 500,000 | 0 | 0 | 0.0 |

支出の営業費用は、浄水費、配水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息など

病院事業



◎病院業務量

(平成24年4月1日～平成24年9月30日)
 病床数・・・50床
 入院患者数・・・延べ5,705人
 外来患者数・・・延べ18,871人
 入院1日平均・・・31.2人
 外来1日平均・・・151.0人

◎借入金残高 3,725万円

■お問い合わせ先: えびの市立病院
 ☎ 33 - 1023

【事業収入に関する事項】

[単位: 円]

| 区分 | 予算額 | 執行額 | | 収入率 (%) |
|--------|-------------|-------------|-------------|---------|
| | | 上半期 | 累計 | |
| 病院事業収益 | 962,577,000 | 446,707,500 | 446,707,500 | 46.4 |
| 医業収益 | 878,788,000 | 384,153,818 | 384,153,818 | 43.7 |
| 医業外収益 | 83,788,000 | 62,553,682 | 62,553,682 | 74.7 |
| 特別利益 | 1,000 | 0 | 0 | 0.0 |

収入の医業収益は、入院収益・外来収益など。医業外収益は、一般会計補助金など。

【事業費用に関する事項】

[単位: 円]

| 区分 | 予算額 | 執行額 | | 執行率 (%) |
|--------|-------------|-------------|-------------|---------|
| | | 上半期 | 累計 | |
| 病院事業費用 | 996,694,000 | 412,697,143 | 412,697,143 | 41.4 |
| 医業費用 | 994,793,000 | 412,064,657 | 412,064,657 | 41.4 |
| 医業外費用 | 1,700,000 | 632,486 | 632,486 | 37.2 |
| 特別損失 | 1,000 | 0 | 0 | 0.0 |
| 予備費 | 200,000 | 0 | 0 | 0.0 |

支出の医業費用は、給与費、材料代経費等。医業外経費は、企業債の償還利息など。

CIVIC NEWS

市政ニュース

えびの市の市政発展に尽力 功績をたたえ市民表彰

平成24年度えびの市市民表彰式が11月3日、えびの市文化センターで行われました。今年度の受章者・団体は、教育・芸術・体育・文化や福祉など、さまざまな分野で長年貢献されてきた3人と1団体です。

表彰式では、受章者に村岡市長から賞状と記念品が贈呈されました。村岡市長は「市の指導者として、模範として、えびの市の市政発展に一層の力添えをお願いします」と式辞を述べました。

受章者を代表して、市田寛幸さんが「表彰を機に、えびの市のために今後も努力していきます」と謝辞を述べました。

えびの市市民表彰制度は、昭和62年度に「市政功労者表彰」としてスタートしました。平成24年度の市民表彰では、市民に公募を行い、候補者の中から表彰審議会の審査により、受章者・団体を決定したものです。

教育・芸術・体育・文化部門



平山ヒサエさん
[えびの市栗下・91歳]

【功績】長年にわたり、えびの市地域婦人連絡協議会の活動に尽力。男女平等の推進啓発活動や青少年の健全育成活動など地域の社会教育の発展に寄与。県や西諸地区の婦人連絡協議会の活動に積極的に参加するなど連携強化に努め地域の社会教育水準の向上に尽力。

公共福祉部門（団体受章）



えびの地区保護司会
会長 友清徹也さん

【功績】長年にわたり、罪を犯した人が社会復帰を果たした時に、スムーズに社会生活が営まれるよう帰宅先の生活環境の調整や相談活動を行う。犯罪の未然防止活動を積極的にを行い、明るい地域社会づくりに貢献するなど社会福祉環境の向上に尽力。

○各部門表彰者

教育・芸術・体育・文化部門



市田寛幸さん
[えびの市向江・81歳]

【功績】長年にわたり、えびの市史談会、えびの市文化財保存調査委員会で活躍。市文化財の保存・指定や歴史文化の情報発信など文化の振興に尽力。「えびの市史上巻」、「えびの市史下巻」を執筆するなど市の歴史文化の継承や保護・保存に大きく貢献。

公共福祉部門



木原ヒデ子さん
[えびの市浦・84歳]

【功績】長年にわたり、えびの市民生委員・児童委員協議会委員、えびの市更生保護女性会、えびの市赤十字奉仕団、ボランティアひまわり会など福祉分野団体で活躍され、地域の社会福祉環境の向上に尽力。「しらゆり会」を立ち上げるなど公共福祉の増進に貢献。

関市企画課秘書係 ☎35-1111（内線302）

坂元さんの牛が内閣総理大臣賞 和牛五輪、親子で快挙

坂元さんの牛が内閣総理大臣賞

10月25日から29日の5日間、長崎県佐世保市のハウスステーションボスで、第10回全国和牛能力共進会が行われ、坂元幸保さん、一貴さん親子（松原区）の牛が優秀な成績を収めました。

年に1度行われます。別名和牛のオリンピックと呼ぶ和牛の改良の成果や肉質を競う大会です。全国大会では、38都道府県から合計480頭が出品され、厳正な審査の結果、坂元一貴さんの牛が7区（総合評価群）

で優等首席内閣総理大臣賞、幸保さんの牛が5区（繁殖雌牛群）で優等2席農林水産省生産局長賞を受賞しました。11月6日、坂元さん親子が市長を訪問。全国和牛能力共進会での成績を報告しました。報告を受け市長は、「日本一を取ろうと思っても取れるものではありません。この受賞を機に、市としてもいろいろな形でPRしていきたい」と賞を絶賛。坂元一貴さんは、「今回の受賞は、今までで

一番うれしい賞です。プレッシャーもありましたが自信にもつながりました。これからもがんばっていきたいです」、坂元幸保さんは、「この賞は、えびの市民一丸となった防疫作業で口蹄疫被害を最小限に抑えたたまものです。全国からいただいた温かい支援にもこたえられたのではないかと 생각합니다」と話していました。

関市畜産農林課畜産振興室 ☎35-1111（内線222）



牛衣（ぎゅうい）をかけられたもえ号



市長に報告を行う坂元さん親子

CIVIC NEWS

市政ニュース

宝くじスポーツフェア「ドリームベースボール」 往年の名選手が王子原に集結



松永選手から走塁について学ぶ子どもたち

10月28日、元プロ野球選手が小中学生に直接指導などを行う、宝くじスポーツフェア「ドリームベースボール」が、王子原運動公園野球場で行われました。

これは、宝くじの社会貢献広報事業として、青少年の健全育成などを目的に行われたものです。

野球教室には、小中学生の野球チーム24チーム約360人が参加。元プロ野球選手24人から打撃や守備などの指導を受けていました。野球教室の後は、社会人



桑田選手もピッチング指導

のえびの市選抜チームと親善試合が行われました。スタンドには約2500人が来場。元プロ野球選手の素晴らしいプレーや珍プレーのたびに球場に歓声が響きました。

上江野球スポーツ少年団の木原旭陽さんは「バッティングを教えてもらいました。これからの練習に生かしていきたいです」と話していました。



えびの市選抜チームとの親善試合

行政サービスの向上のために 市民目線で事業を評価

市では、行政組織内部での事業に市民目線での評価を加え検討する事務事業の外部評価を10月6日、市役所で実施しました。評価員は、公募で選ばれた市民や大学教授など6人です。

この外部評価は、「効率的・効果的な市民サービスの推進」、「市民へ説明する責任の確保」を目的としています。外部事業評価では、評価員が事前に抽出した市の猟友会鳥獣対策協議会事業など7事

業が評価されました。

えびの市ぶらんど21助成事業は、「見直しが必要」の評価が出されました。評価員からは、「予算枠をしっかりと決め、枠内で良いものを採用するような選択の仕組みの検討をしていただきたい」などの意見が出されました。

今回の外部評価の結果は、今後、事務事業の改革・改善に役立てていきます。評価結果については、市ホームページで閲覧できます。

徒歩通学で自立した「えびのっ子」 自力登校にご協力を

市教育委員会では、未来を切り拓く力を身につけて、確実に自分の力で生きていく、自立した「えびのっ子」を育成するため、「自力登校」を推進しています。

市内小中学校では、雨の日ばかりではなく、晴れた日も送迎してもらった子どもたちが多くなっています。学校周辺では、路上駐車など、送迎による交通トラブルも発生しています。

自力登校は、自力で学校と

家庭を行き来するという単なる行為ですが、地域の人とあいさつを交わしたり、豊かな自然に触れたりするなどさまざまな体験ができます。継続することで自分自身の精神面の鍛錬にもつながります。

地域でも、子どもとの積極的なあいさつや登下校時の安全確保のための見守りなど、ご協力をお願いします。市民総ぐるみで自力登校を推進し、未来を担う心豊かな「えびのっ子」を育てましょう。

○事務事業評価一覧

| 事業名 | 判定区分 | 担当課 |
|-----------------|--------|-------|
| 猟友会鳥獣対策協議会事業 | 現行どおり | 畜産農林課 |
| えびの市住宅リフォーム促進事業 | 見直しが必要 | 観光商工課 |
| 女性相談事業 | 現行どおり | 総務課 |
| 広報えびの発行事業 | 拡充が必要 | 企画課 |
| 不法投棄防止啓発事業 | 見直しが必要 | 環境業務課 |
| 敬老祝金支給事業 | 見直しが必要 | 長寿介護課 |
| えびの市ぶらんど21助成事業 | 見直しが必要 | 市民協働課 |

結果については、市ホームページで閲覧できます



自力登校の風景



地域活性化活動実践報告会

まちづくり活動の成果を報告

11月3日、市文化センターで地域活性化活動実践報告会が行われました。

報告会では、ぶらいど21で助成を受けている3団体と京町駐在所連絡協議会、地域おこし協力隊がまちづくり活動の成果を報告しました。

「ちやいむ子どもと共に歩むえびのの会」の伊作真由美さんは、「子どもの人権が尊重される地域・社会づくり活動で、児童虐待防止などの理解と意識を高めることができ」と報告しました。



ハーフ牛枝肉共進会

枝肉の質を競いあう

10月20日、熊本県球磨郡錦町で第25回宮崎ハーフ牛枝肉共進会が行われました。

市内の生産者がすばらしい成績を収めました。

【宮崎ハーフ牛枝肉共進会】
 (宮崎ハーフ牛部門) 最優秀賞Ⅱ山下繁一さん(西長江浦下区)、優秀賞Ⅱ前原義信さん(出水区)、優良賞Ⅱ平岡伸夫さん(南原田区)
 (宮崎ハーフ牛交雑種部門) 最優秀賞Ⅱ平岡伸夫さん(南原田区)、優秀賞Ⅱ今別府実男さん(南原田区)

10月20日、21日、グリーンパークえびのの会場に秋季えびの観光祭が行われました。会場には、2日間で、市内外から約1万5千人が来場しました。

グリーンパークは、600万本のコスモスが見ごろとなりました。

これに合わせて行われた観光祭では、物産展や熱気球体験試乗などが行われました。

熱気球体験試乗をした都城市から来場の小川幸夫さんは「孫と一緒に初めての体験をしました。楽しかったです」と話していました。

秋季えびの観光祭

えびのの秋を満喫



10月27日から28日までの2日間、大阪府堺市で、「がんばるえびの市物産フェア」が開催されました。これは、口蹄疫復興を目的に、えびの市の農畜産物や特産品、観光資源をPRするために行われたもので、今年で3回目です。



堺市で「がんばるえびの市物産フェア」

物産、観光、元気をPR

会場には、新米のえびの産ひのひかり、野菜、宮崎牛、畜産加工品などが所狭しと並べられました。

訪れた人たちは、米や肉の試食、焼酎の試飲を楽しみながら品定め。2日間、多くの人でにぎわいました。



自衛隊のまちえびのを目指して
グラウンドゴルフで交流

10月14日、「えびの駐屯地司令・えびの自衛隊後援会会長杯グラウンドゴルフ大会」がえびの駐屯地で行われました。大会には、市民のほか自衛官など約500人が参加グラウンドゴルフで交流を深めていました。

この大会は、市民と自衛隊の交流の場として毎年行われ、今年で3回目です。

大会で村岡市長は、「イベントを通じて市民と自衛隊員の交流を深めてもらえれば」とあいさつしました。



シルバー人材センターの日にあわせて
熟練の技でボランティア

10月19日、(社)えびの市シルバー人材センターの会員80人が、永山運動公園と八幡丘公園の草払いとせん定のボランティアを行いました。

このボランティアは、毎年10月の「全国一斉シルバー人材センター普及啓発月間」に合わせて行われたものです。

シルバー人材センターの藤嶋勉事務局長は「会員の協力で手際よく作業が完了しました。利用者に気持ち良く使ってもらえれば」と話していました。



えびのの気質

カメラ愛好家

川嶋達也さん

カメラは妻の次に大事な存在

「シャッターを切った瞬間、被写体から感じたものがそのままの形で現れることが写真の魅力です」と話すのは川嶋達也さん（東内堅区）です。

川嶋さんのカメラとの付き合いは50年以上。今では「妻の次に大事な存在」だそうです。カメラとの出会いは、30歳になったころ、子どもの成長記録を残そうとしたことからでした。子どもの写真を撮り始めて数年後、物足りなさを感じ始め、昭和41年ごろから本格的に風景写真などを撮り始めました。最近では身近な被写体を中心に撮影しています。「夏は、軒下のクモや朝霧、冬は、庭先に積もった雪などを撮ります」

光のコントラストに魅せられて

平成23年度には、クモの巣の写真で、宮日総合美術展写真部門で特選を取りました。特選作「光彩」は、朝日が映るクモの巣が虹色に輝き神秘的です。

「ある朝、居間でくつろいでいました。何気なく外を見てみると、七色に光るものを見つけました。近づいてみるとクモの巣でした」その日からクモの巣を撮る日々が始まったそうです。天候によって見え方が変わるクモの巣、同じものは2度と撮れません。「その日の天



納得のいく写真を追い求めて

今年も金婚式の参加者の記念写真撮影を行いました。川嶋さんは「私でなくても良いと

候などを見て露出などカメラを調整していません。なかなか思い通りの写真を撮ることは難しかったです」。一瞬を切り取るために費やしたのは、なんと1年8か月です。

美術展には、クモのほかにもう一枚出展していました。「トンボの写真は撮っていました。私的にはトンボの写真が良かったのですが…」

えびのの魅力を撮り続けたい

思いますが、頼まれると断れなくて」と笑います。

市には、昭和43年に発生したえびの地震の記録写真が保存されています。その一部は川嶋さんが撮影したものです。「その日は大雪で、雪の写真を撮ろうと一枚目のシャッターを切った瞬間、地震が起きてびっくりしました。こうしてはいられないと、被災現場を撮り歩きました」撮った写真の大半は、小中学校や市に寄贈したそうです。

昭和55年度発行の市勢要覧には川嶋さん撮影の「田の神さあ」の写真が使われています。当時、市は「田の神さあのみち」をアピールしていましたが、田の神さあの写真があまりありませんでした。「市の広報担当者から依頼があり、市内96体の田の神さあの写真を撮りました」

これからも、えびの市のいろいろな表情を撮り続けていきたいという川嶋さん「体が元気な限り、自分の納得がいく写真を撮り追いかけていきたいです」



Profile
かわしま・たつや／82歳／東内堅区／趣味：写真（身の回りのものを被写体にスナップ写真を撮ること）

うまかまん

今 月紹介するのは、男の腕まくり料理教室の皆さんが作った「といもがらの酢の物」です。お酢でさっぱりとした一品です。

ハスイモの葉柄のことを九州ではトイモガラと呼びます。トイモガラは、板の上で切るとエグミが出ます。必ず皮をむいて調理します。酢の物に入れるときは塩もみをするとういでしょう。トイモガラのシャキシャキした歯触りが食欲をそそります。トイモガラは、酢の物はもちろん、刺身のつま、味噌汁の具や煮物、ソーメン汁、鶏肉と煮込んでおいしいです。生でよし、煮てもよし、独特のシャリ感のあるトイモガラは、どんな材料と合わせても良い味が出ます。



生でよし、煮てもよし、独特のシャリ感のあるトイモガラ

今月の一品 トイモガラの酢の物

Recipe レシピ

- 【材料】**
トイモガラ 200g、キュウリ 1/3本、モヤシ 80g、ロースハム 2枚、ごま油 小さじ1
A：酢 大さじ1、砂糖 大さじ1、薄口しょうゆ 大さじ1
- 【作り方】**
① トイモガラは洗い、皮をはがし細切りにして塩もみをする。
② キュウリは輪切りにして塩もみをする。
③ モヤシは、湯通しする。
④ ロースハムは千切りにする。
⑤ Aの調味料を合わせておく。
⑥ といもがら、キュウリ、モヤシ、ロースハムと⑤の調味料を混ぜ合わせる。最後にごま油を少量加える。



【紹介者】 男の腕まくり料理教室みなさん

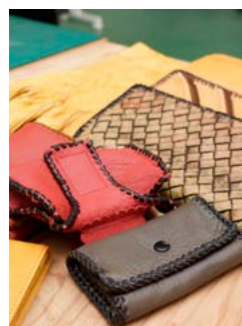


環霧島 探訪

◆ 鹿を使った新たなビジネス

今月は、えびの産鹿革ブランドの確立を目指す下牟田盛利さんを紹介いたします。

鹿による自然や農作物への被害は、環霧島地域でも大きな問題になっています。えびの市には、鹿被害防止対策の継続的な実施や捕獲した鹿を地域資源として有効利用するための「えびの市鹿協会（以下協会）」があります。下牟田さんは、この協会で会長として、農商工連携の新たなアグリビジネスの創出、地域の活性化を目指し活動しています。協会では、「法令に基づき駆除した鹿を何か有効活用できないか」と平成23年5月から本格的に鹿革製品の販売を



販売する革製品



下牟田盛利さん

始めました。協会では、財布、小物入れ、バッグ、手袋など作っています。「鹿革は、丈夫で温かく、長持ちします。希望があれば、お好みの鹿革製品を作りますよ」と下牟田さん。

えびの市猟友会の駆除班員がワナなどで捕獲した鹿を鹿協会員が肉と皮に分け、皮は、県外の業者に納めしを委託しています。財布などの製品は、会員が一つ一つ手作りで作っています。「一つの製品を作るのに時間はかかりませんが、その分、気持ちを込めています」今後は、「革のなめしから製品加工まで一貫して行えるよう環境整備をしていきたい」と意気込みをのぞかせます。

最近では全国から製品の問い合わせがあります。鹿革製品は、市役所近くの販売所や真幸駅、白鳥温泉、えびの市鹿協会のインターネットサイトで購入できます。ぜひご覧ください。

EVENTS OF KANKIRISHIMA



都城ぼんち市

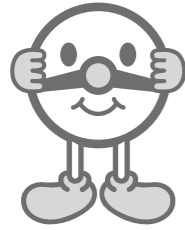
- 日時=12月9日(日) 午前9時~正午
 - 場所=都城市中町東中町通り
 - 内容=霧地元農畜産物や工芸品などの軽トラック市。毎月第2日曜日に開催。※開催時間は、12・1・2月のみ午前9時から開催。それ以外の月は、8時から開催。
- ☎ 都城商工会議所 ☎0986-23-0001



祓川神楽

- 日時=12月8日(土) 午後7時~
 - 場所=祓川神楽殿前広場
 - 内容=真剣を使った舞が多く、天神地祇12神になぞらえた12人が真剣を持って勇壮に舞う「十二人剣」、南九州でしか見られない「杵舞」などがあります。
- ☎ 高原町まちづくり推進課 ☎42-2115

飲酒運転はやめましょう



ハンドルキーパー

県内の交通死亡事故は、10月末で36件発生し、37人が亡くなっています。今年も飲酒のからむ事故で1人が亡くなっています。

年末は忘年会等で飲酒する機会が多い時期です。

次のことに留意し、飲酒運転の根絶に努めましょう。

- 「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」の徹底
- 「ハンドルキーパー」を決めて、飲まない人が仲間を安全に自宅まで送り届ける
- 朝、出かける時には、二日酔いでないか確認する

| | | | | |
|--------------|----|-----|--------|------|
| 10月の交通事故発生状況 | 人身 | 14件 | 本年10月末 | 92件 |
| | 物件 | 33件 | 本年10月末 | 284件 |

消防署人事異動のお知らせ



えびの署では、10月11日付けの人事異動で職員が変更されました。

【着任】

松岡裕一（野尻分遣所から）

【新任】 村上広大（小林市出身）、坂元司（小林市出身）

【離任】

内嶋健太郎（高原分遣所へ）

○インフルエンザの予防を徹底しましょう

インフルエンザウイルスは、低温、低温を好み、乾燥していると長時間空中を漂います。加湿器などで湿度を保ち、うがい、手洗いなど予防を徹底しましょう。

| | | | | |
|------------------------|----|-----|----|------|
| 10月の活動状況 [えびの消防署管内] | 火災 | 1件 | 年計 | 8件 |
| | 救急 | 59件 | 年計 | 677件 |

自公連だより

※自公連…「自治公民館連絡協議会」の略称



浜川原湧水公園でのそば祭り

ほたると湧水の里

東長江浦上自治公民館

霧島山系のふもとに位置する東長江浦上区は、浜川原湧水公園を中心として、地域活性化に取り組んでいます。地区には、婦人部、高齢者クラブ、長進会などがあります。長進会は、長江浦地域の活性化を進めることを目的に、約30年前に結成しました。

長進会では、湧水公園にそうめん流し、休憩棟などを建設するなど、ホタルの乱飛する癒しの場となる公園づくりに取り組んでいます。正月には、帰郷する人をもてなすための門松を地区の入り口と出口に立てています。また、子どもたちやお年寄りを集め、そばの播種から刈り取りまでの世代間交流を行っています。収穫後は、そば祭りを行い豊作に感謝しています。



東長江浦上自治公民館館長 福岡 香さん

今年のそば祭りでは、女装した夫が妻にそばやまぜご飯などを振る舞い、日ごろの農作業と家事に感謝し、一日を楽しく過ごしてもらったための企画をしています。東長江浦上では、自治公民館活動を通じて「いつも、笑いと笑顔の見える地域づくり」に取り組んでいます。

くらしのメモ



小さな積み重ねこそが大切

9月19日、小林市文化会館で文化講演会が行われました。講師には小林市出身で日本気象協会に勤務の安田昌弘さんが招かれ「地球温暖化について」という演題で講演が行われました。今回は、その講演の内容の一部を紹介します。

気象変動の要因には自然のものや人為的なものがあります。人為的なもの一つに二酸化炭素の排出が増加していることが考えられます。温暖化を遅らせるために、太陽光・地熱・風力・波力エネルギーの利用が工夫され始めました。また、二酸化炭素の排出量を2020年までに90年より25%削減しようという「チャレンジ25」という取り組みも始まっています。

3Rやゴミ分別でのゴミの減量、マイバック持参でのレジ袋削減や東日本大震災以来みんなどで取り組んでいる節電など、私たちに出来ることは、たくさんあります。こまめな節電など小さなことの積み重ねで今夏の計画停電はありませんでした。この小さな積み重ねこそ地球温暖化防止に向け、大きな力になっていくのではないのでしょうか。

文：くらしのアドバイザー 中堀ふじ子

いきいき!健康



ちょっとした工夫で食べ過ぎを防ぐ

秋から冬にかけては、おいしいものがたくさん出回り、ついつい食べ過ぎてしまう人も多いのではないのでしょうか。食べ過ぎによって、体に残ったエネルギーが体脂肪として蓄えられた結果「肥満」が起こります。肥満は糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病を招く原因の一つでもあるので注意が必要です。

ちょっとした工夫や心がけで、エネルギーのとり過ぎや体重増加は防ぐことができます。

- 1日3食規則正しく食べる
- 最初に野菜から食べる

野菜の多い料理を積極的に取りましょう。

- よくかんで、ゆっくり食べる
- 間食は控えめに

文：後藤栄養士

あの時、あのころ

あの時のえびの市を広報で振り返る



たんぼに力自慢が大集合

じ よいふるたんぼ会場で「あいがとな祭り」が行われました。祭りでは、地区・職場対抗の綱引き大会が行われました。各地区、各職場の代表選手たちは顔を真っ赤にして綱を引いていました。応援団も「エイエイ、エッサー」の掛け声が入っていました。会場西側では、イモ掘り体験が行われ、親子で泥まみれになりながら土とのふれあいを楽しみました。収穫したイモは、早速焼きイモに。焼きたてのイモが参加者に振る舞われていました。

(平成4年11月掲載)



◎イベント

クリスマスおはなし会

- とき=12月15日(土) 10:30~11:30
- ところ=市民図書館学習室
- 参加料=無料
- 対象=0歳~大人まで

当日はサンタがくるよ~



◎年末のおすすめ特集

年末、何かと忙しい時期。そんなあなたの手助けとなる1冊を特設コーナーを設けて展示しています。

- 【クリスマス特集】絵本やCD
- 【大掃除特集】プロが教える掃除テクニック本など
- 【手作り年賀状特集】手作り年賀状の作り方など
- 【おせち料理】おせち料理本など
- 【正月をむかえる特集】生け花の本など

◎12月のスケジュール

| | | | |
|----|---|---|----------------------------|
| 1 | 土 | おはなし会 かたつみろかい | 10:30~11:30 13:30~15:00 |
| 3 | 月 | 図書館休館日 | |
| 5 | 水 | 移動図書館車巡回② | 13:20~15:35 |
| 7 | 金 | 移動図書館車巡回③ | 13:20~15:35 |
| 8 | 土 | おはなし会 | 10:30~11:30 |
| 10 | 月 | 図書館休館日 | |
| 12 | 水 | 移動図書館車巡回① | 13:20~15:35 |
| 15 | 土 | クリスマスお楽しみおはなし会 | 10:30~11:30 |
| 17 | 月 | 図書館休館日 | |
| 18 | 火 | ドリームカー(子育て支援センター) | 10:30~12:00 |
| 19 | 水 | 図書館休館日(館内整理日) 移動図書館車巡回② ブックスタート(1歳児に絵本配布) | 13:20~15:35 |
| 21 | 金 | 喫茶「ふら〜っと」営業 移動図書館車巡回③ | 9:45~11:00 13:20~15:35 |
| 25 | 火 | 図書館休館日 | |
| 28 | 金 | 年末年始の休館日 1月4日(金)まで | |

※おはなし会:乳幼児10:30~11:00、4歳以上11:00~11:30

※移動図書館巡回

①尾八重野分校→飯野駅前地区体育館→飯野出張所

②岡元小学校→市立病院→さくら苑

③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター

おすすめの一冊



世界的有名画家36人と世界に誇れる日本画家10人の代表的な作品が掲載されています。

レブン/著者
(メイツ出版株式会社)

画家の人物がわかるエピソードや生涯などがわかりやすく説明され、作品についても、どこの美術館に所蔵されているかが掲載されています。

子どもだけでなく、大人も一緒に楽しめる1冊です。この機会にみなさんも名画に触れてみませんか。

【最近入ったおすすめ本】
○「家族を生きる」 平木典子・柏木恵子著 東京大学出版会
○「空より高く」 重松清著 中央論新社
○「ノエル」 尾道秀実著 新潮社
○「ソロモンの偽証」II部 宮部みゆき著 新潮社
○「和牛詐欺」 斉藤友彦著 講談社



この本は、宮崎県の山の登山ガイドブックです。

緒方優・門田純/著者
(株式会社山と溪谷社)

宮崎県の山は、九州脊梁(せきりょう)山脈の真ただ中にあり、中でも「日本百名山」に選ばれている祖母山・霧島山が有名です。

初級クラスの登山者が無理なく歩ける日程・山岳の特徴・付近の観光がカラー写真等で紹介されています。

山登りが好きな人、挑戦したい人におすすめの1冊です。

市民図書館

☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間 ■ 火曜日~土曜日/午前9時~午後7時 日曜日・祝日/午前9時~午後5時

■休館日 ■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

短歌

風に乗る木犀の香の漂いて
秋の茶の間を満してゆけり

原田区 岡本克子

(評)澄み渡る空、吹く風の爽やかさ、咲く花ばな。中でも木犀の香はまさに初秋の風物詩である。作者は茶の間に居てしみじみと秋を感じ、やがて晩秋から初冬へと季節の巡りゆくことを思い、身の過ぎ来(こ)し方に重ね合わせるのである。感性と詩情のある詠(うた)である。

(竹下妙子)

俳句

天上の紺に勝りし紅葉かな

白鳥区 松山夢真
知る人ぞ知る白鳥神社の紅葉。一見の価値あります。(自註)

詩

許すこと

京町区 市田寛幸

自分が他人を許せないということは、自らの成熟の度合いが浅いということ。自分の心の狭さ浅さはかさのバロメーターに過ぎない。もっと許せたらそれだけ自分の心の広さ成長を証明しているのだ。許せ許そう。心の小さな人のする事云うこと。ああそうですかよしよと云ってあげよう。その人はそれで助かるのだから満足するのだから。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 37-3056 (俳句) 松山良文さん ☎ 33-4904 (詩) ポエム同好会(市田寛幸さん) ☎ 37-2528まで

ハートリンクフェスタ2012inえびの

障害者スポーツへの理解を深めてもらうことを目的に「ハートリンクフェスタ2012inえびの」が開催されます。

当日は、車いすのシンガーソングライター真北聖子さんのミニライブも開催されます。たくさんのご来場をお待ちしています。

- 開催日＝12月2日(日)
 - 時間＝午前9時～午後3時
 - 場所＝真幸地区体育館
 - 入場料＝無料
 - 内容＝県内車いすバスケットボールチームによる模範試合、車椅子ダンス、写真展、車椅子体験、障害者スポーツ交流会、真北聖子さんのミニライブなど
- ※先着200人には、記念品贈呈、おにぎり、豚汁の振る舞いがあります。

問市福祉事務所福祉係
☎35-1111 (内線261)

宮崎恋旅 グルメ&ドライブ キャンペーン

県内の「道の駅」14か所と、各市町村でそれぞれ指定した対象施設26か所、合計40か所で、「宮崎恋旅 グルメ&ドライブキャンペーン」が開催されています。

キャンペーン期間中は、「古事記編さん1300年記念お薦めメニュー」が販売されています(メニュー内容は各施設で異なります)。

この「お薦めメニュー」を1300円以上購入する事で、キャンペーンに応募する事ができ、抽選で45人に商品券などの賞品が当たります。ぜひご参加ください。

他市町村の対象施設などの詳細については、県高速

道対策局ホームページ(<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/doboku/kousoku/>)、または市企画課窓口で配布してある応募チラシでご確認ください。

【実施期間】12月31日(月)まで
【えびの市の対象施設】えびの高原荘

問市企画課政策係
☎35-1111 (内線322)

ご利用ください。人権相談所

毎日の生活で、「これは人権問題ではないだろうか」、あるいは「法律上どのようなになるのか」など、よくわからなくて困ったことはありませんか。

市では、毎月第1水曜日に「人権相談所(人権行政相談所)」を開設しています。お気軽にご相談ください。

- 開催日＝12月5日、1月9日、2月6日、3月6日
- 時間＝午前10時～午後3時
- 場所＝市役所2階 2-1会議室

問市総務課人権啓発室
☎35-1111 (内線350)

12月4日～10日は人権週間です

第64回人権週間が12月4日から始まります。

人権週間の由来は、1948年12月10日、パリで行われた第3回国際連合総会で世界人権宣言が採択され、国際連合は、この日を記念して毎年12月10日を「人権デー」と定め、全ての加盟国に対し人権思想の普及高揚に努めるように呼びかけたのが始まりです。

わが国でも、毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」として、広く国民に人権思想の普及と人権意識

の高揚を呼びかけるためさまざまな行事を実施しています。

法務省と全国人権擁護委員連合会では、この週間中、啓発活動重点目標を「みんなで築こう人権の世紀～考えよう相手の気持ち育てよう思いやりの心～」と設定し、人権思想の普及のための啓発活動を展開しています。

○こんなときは人権擁護委員にご相談ください

人権の侵害や侵害されるおそれがあるとき、いじめ、体罰、土地建物、金銭の貸し借り、そのほか家庭内の問題などでお困りの人は、お近くの人権擁護委員、または宮崎地方司法局都城支局、全国共通人権相談ナビダイヤルへお気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は固く守られます。

宮崎地方司法局都城支局 ☎0986-22-0490
全国共通人権相談ナビダイヤル ☎0570-003-110

問総務課人権啓発室
☎35-1111 (内線350)

給与所得者の年末調整

12月は、給与等に係る源泉所得税の年末調整の月です。毎月の給与等から源泉徴収された所得税の1年間の合計額(以下「源泉徴収税額」といいます。)と、その年の給与総額に対する年税額とは一致しないのが普通です。

このため、源泉徴収税額の過不足分を清算する必要があります。この手続きを「年末調整」と呼んでいます。

大部分の給与所得者は、年末調整により、その年の納税を完納することになりますので、年末調整が正しく行われるためには、勤務先に扶養親族や保険料などの申告を正しく行うことが大切です。

詳しいことは、最寄りの税務署にお尋ねください。

問小林税務署

☎23-3126 (※自動音声案内)

自殺対策講演会自死遺族のつどい

県内在住の自殺遺族の人による講演会、自死遺族のつどいを開催します。講演会は、どなたでも参加できます。多くの参加をお待ちしています。

- 開催日＝12月15日(土)
- 時間＝午後1時～午後3時
- 場所＝小林保健所2階多目的ホール
- 参加料＝無料

問小林保健所疾病対策担当
☎23-3118

無料公正証書遺言等相談

都城公証人役場では、相続・遺言・任意後見契約・尊厳死宣言・賃貸借契約・金銭貸借契約・離婚給付契約等の公正証書作成に関する無料相談を実施します。

- 開催日＝12月5日(水)、6日(木)
- 時間＝午前9時～午後5時(昼休みを除く)
- 場所＝都城公証人役場
〒885-0025 都城市前田町15街区10の1号(国道10号線沿い一宮崎進行方向左側)

※相談を希望する場合には、プライバシー確保のため事前予約が必要です。

申・問 都城公証人役場
☎0986-22-1804
FAX0986-57-0770



◎今月の表紙

今月は、京町温泉活性化プロジェクトの特集を組みました。表紙の写真は、宿泊客を出迎える女将と京町温泉あおぞら市の様子です。

今月の納税

国民健康保険税 第5期
後期高齢者医療保険料 第5期

11月30日(金)までに納めましょう。

人口 20,837人(-7人)

男性／9,741人(+2人) 女性／11,096人(-9人)
転入／32人 転出／30人
出生／14人 死亡／23人

世帯数 9,074世帯(-2世帯)

(平成24年11月1日現在)

今月の取材で、京町温泉の活性化に取り組む多くの人に話を聞くことができました。わがまちを思う熱い気持ちに共感するところがたくさんありました。私も真幸出身。取材では、特集で掲載できない裏話なども…。京町の活性化が、えびの市の活性化につながればと思います。(川野)

Editor's



ひこやま いたび 彦山の板碑

東

川北の彦山寺跡に、県指定文化財の板碑があります。板碑は「石卒塔婆」とも呼ばれ、死者追善のための供養塔です。

鎌倉時代の正中二年（一二三二）五月、真幸院の領主であった日下部氏は、覚然師の三十三回忌に当たり、近隣の有徳の僧侶を招いて、法要を行いました。そのときに、覚然師の弟子であった宝光が建立したものです。覚然師は白鳥山満足寺の高僧で元寇（蒙古襲来）のとき、敵国降伏の祈祷僧として活躍したと伝えられています。彦山寺は、満足寺の隠居所で満足寺歴代住職の墓所でもありました。

この板碑は「覚然忌碑」とも言われ、主碑と副碑の二つが並んで建っています。主碑には、百七十六字の漢字が刻まれ、仏教用語が多く使われています。その碑文の読み下しは、次のとおりです。

「私の考えでは、大日如来の威光はあまねく照らし高野山の頂に輝き、大日如来の信者の榮譽

は増し信仰集団の中に広がる。ここに僧の階級や法号、尊称などを除いて本名だけを言えば、覚然という。一心に修行する僧は自ら悟りを開き仏の境地に至る。すぐれた弟子は悟りの境地に達し心が安らかで大日如来のようだ。その眼は闇を照らし安らかで仏の目に似ている。ここに昔の高徳の僧の尊さを思えば大変苦心しても報いることは容易ではない。亡くなった師匠の深い恩恵を考えれば血肉を刻んでも報いることは難しい。悲しみの涙は今でも乾かず三十三年の歳月になろうとする。よって真心を表し、筆の穂に墨を含ませ、天台宗の経文を三万本の卒塔婆に書きつけ奉る。当院のあちこちの寺に五十余本の石卒塔婆を造って奉る。すぐれた僧侶たちに来てもらい、死者の追善供養をとり行う。虫や鳥、けものなどすべての生き物も、同じく卒塔婆の功德で、共に成仏できることを悟るであろう。」

（文）／えびの市歴史民俗資料館

「人」と「まち」をつなぐ

広報 えびの

平成24年11月20日発行